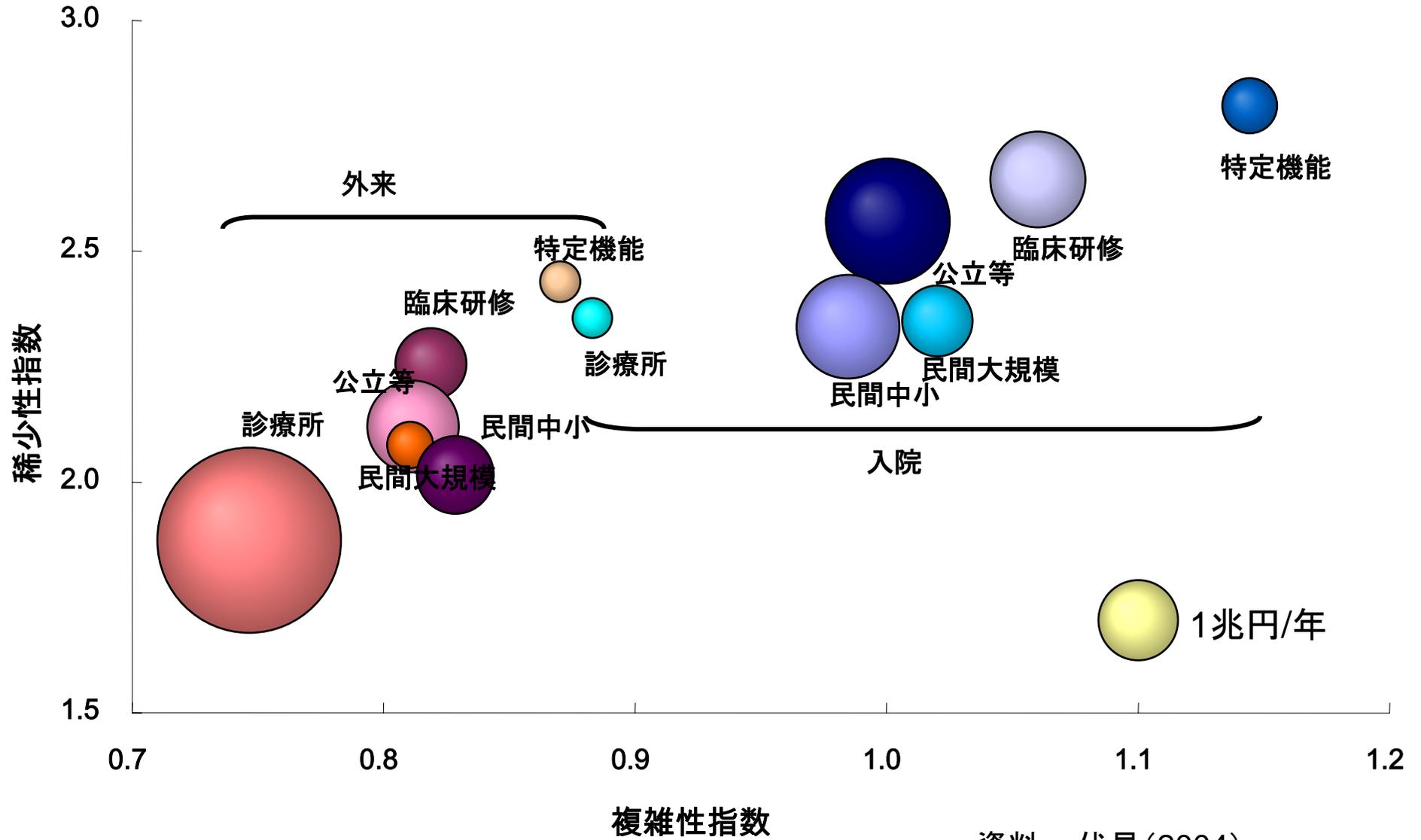


医療機関機能別の診療内容の評価



資料：伏見(2004)

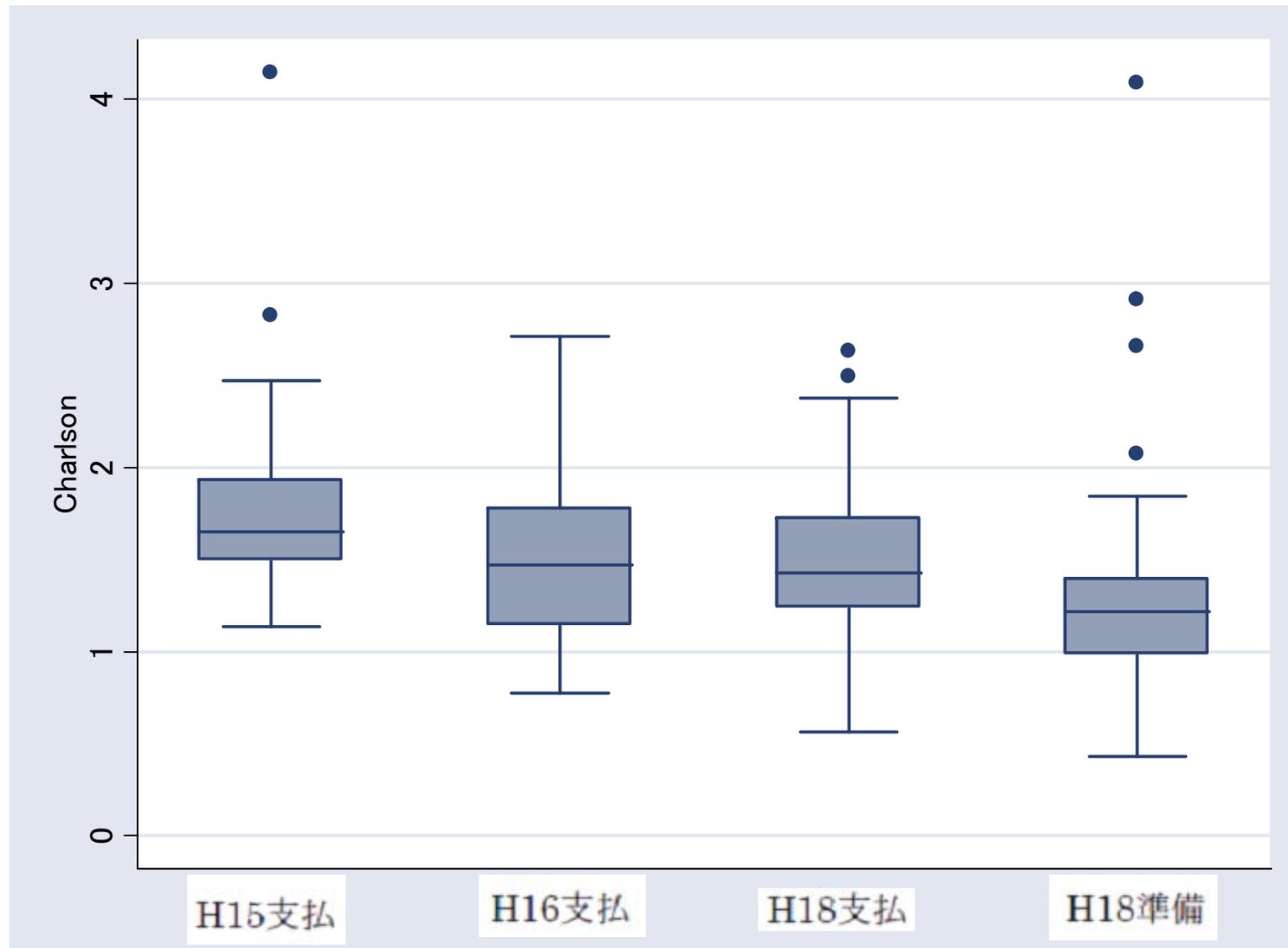
Charlson's score (副傷病スコア)

Table 1

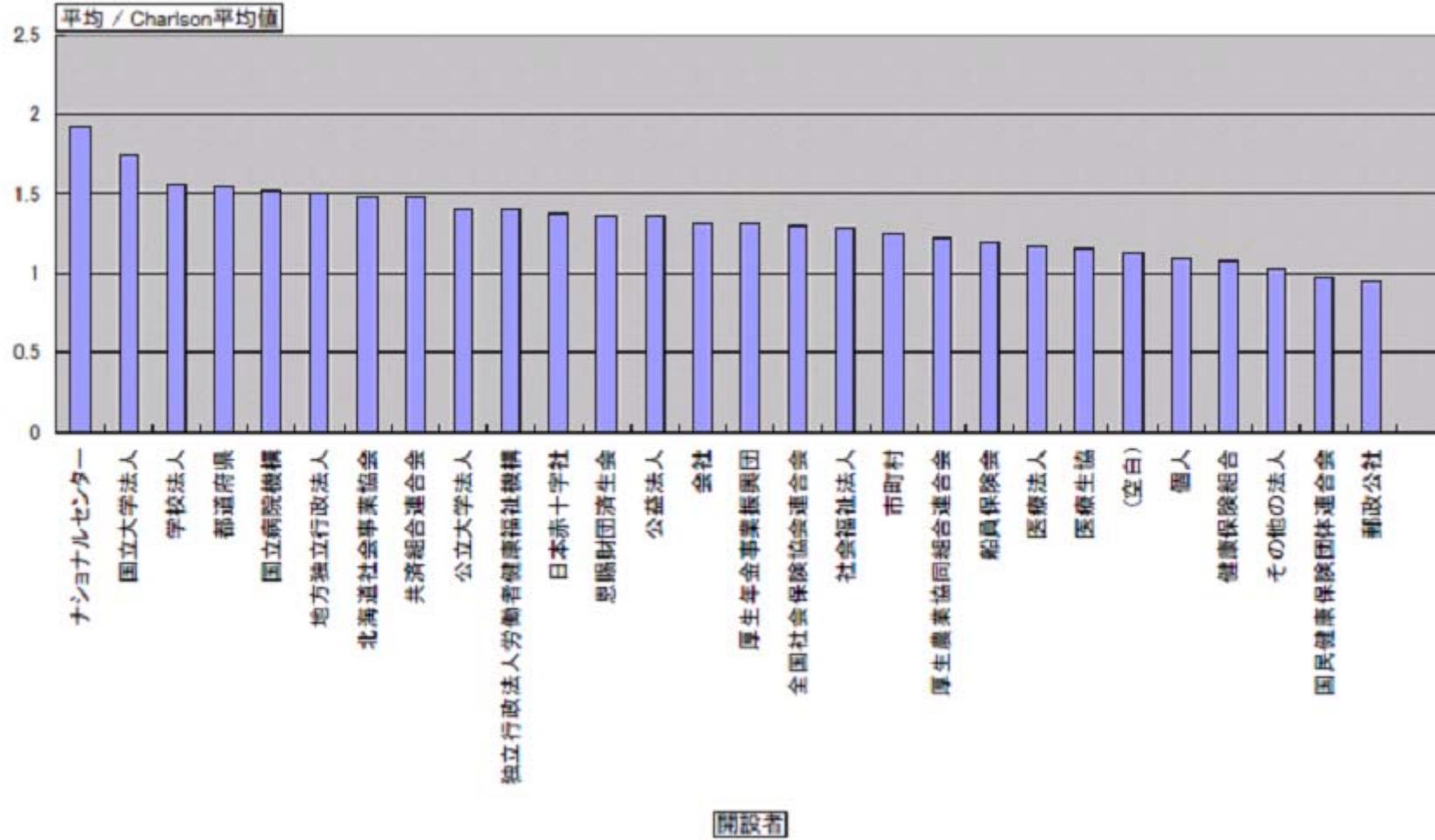
Weights of clinical conditions referring to secondary diagnosis, considered in the Charlson comorbidity index.

Weights	Clinical conditions
1	Myocardial infarct; congestive heart failure; peripheral vascular disease; dementia; cerebrovascular disease; chronic lung disease; connective tissue disease; ulcer; chronic liver disease
2	Hemiplegia; moderate or severe kidney disease; diabetes; diabetes with complication; tumor; leukemia; lymphoma
3	Moderate or severe liver disease
6	Malignant tumor; metastasis; AIDS

医療機関別Charlson's score(副傷病スコア)



医療機関別Charlson's score(副傷病スコア)



望ましい5基準の妥当性の検討

急性心筋梗塞(治療目的)退室時死亡に関連する要因の分析結果
(ロジスティック回帰分析、強制投入法： 2006年調査)

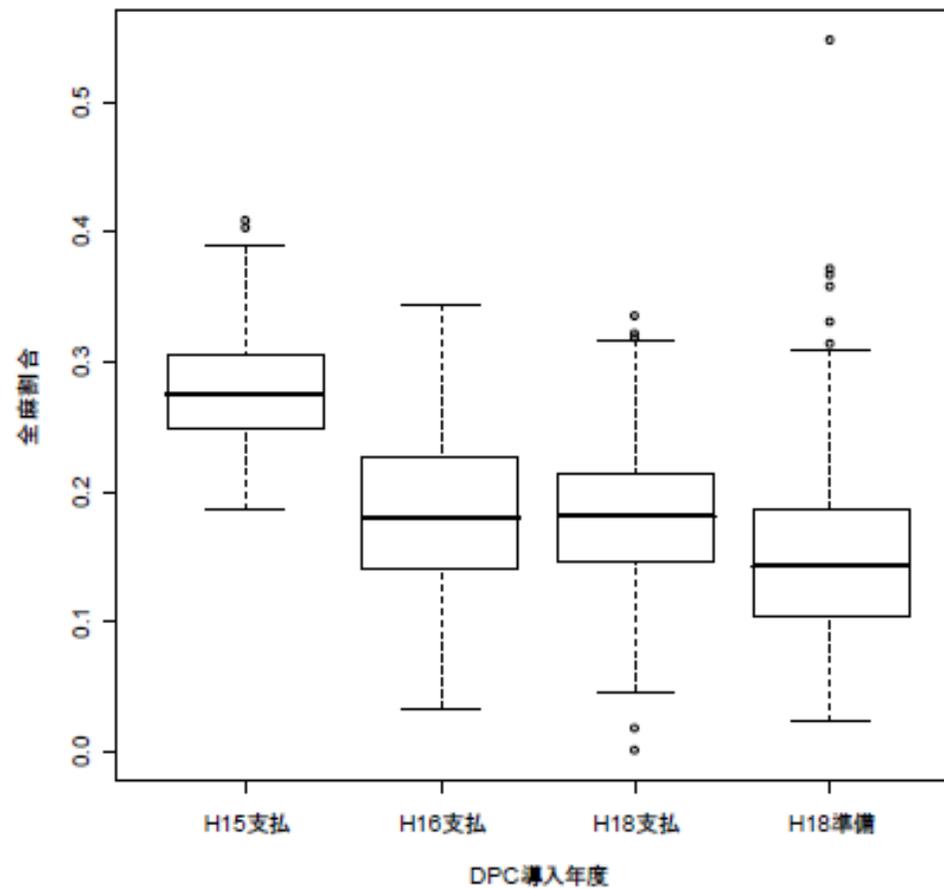
	回帰係数	標準誤差	自由度	有意確率	Odds比
平均占有率	-0.011	0.011	1	0.343	0.989
平均在室日数	-0.032	0.092	1	0.729	0.969
性別	-1.668	0.732	1	0.023	0.189
年齢階級	1.227	0.415	1	0.003	3.409
呼吸不全	0.857	0.829	1	0.301	2.357
心不全	0.415	0.504	1	0.410	1.514
腎不全	-4.415	8.688	1	0.611	0.012
ショック	2.011	0.639	1	0.002	7.470
RES日数割合	0.007	0.003	1	0.015	1.007
HD日数割合	0.081	0.031	1	0.010	1.085
Closed	-0.521	0.673	1	0.439	0.594
Open	0.419	0.606	1	0.489	1.521
定数	-3.313	1.487	1	0.026	0.036

説明変数： 平均占有率・平均在室日数(平成17年度実績)、性(男=1、女=2)、
年齢階級(60歳未満=1、65歳～74歳=2、75歳以上=3)、呼吸不全、心不全、肝不全、腎不全、ショック、敗血症(あり=1、なし=0)
RES日数割合(入室期間における人工呼吸器装着日数割合)、HD日数割合(入室期間における人工透析日数割合)、
運用形態(Open, Closed はSemi-closedをリファレンスとしたダミー変数)

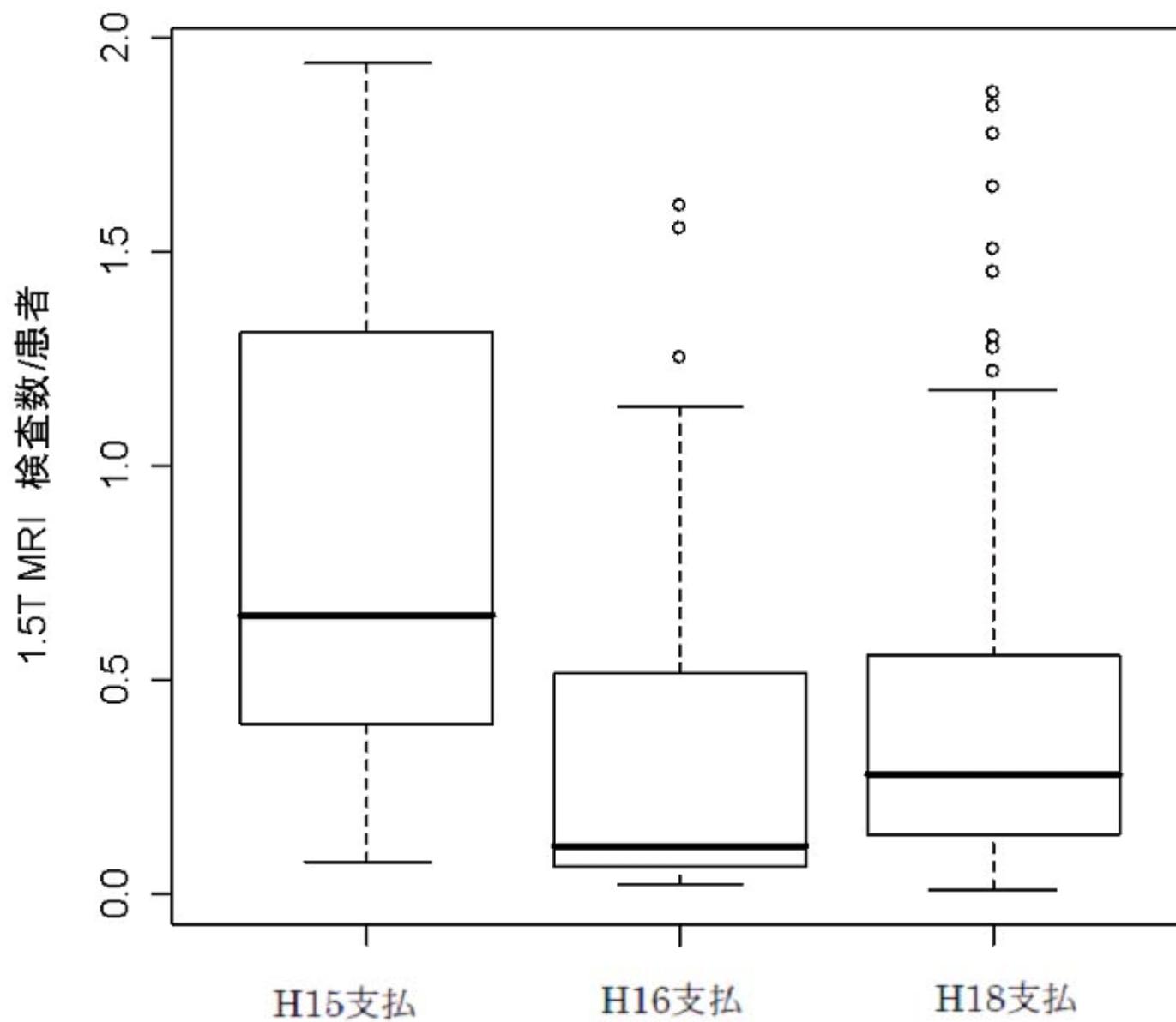
ICUの評価

- 医師を含めた専従医療職の配置が医療の質に関連している可能性がある
- 患者の重症度が施設によって異なる
- 医療職の配置及び受入れ患者の重症度をICUの機能評価に反映させることはできないか

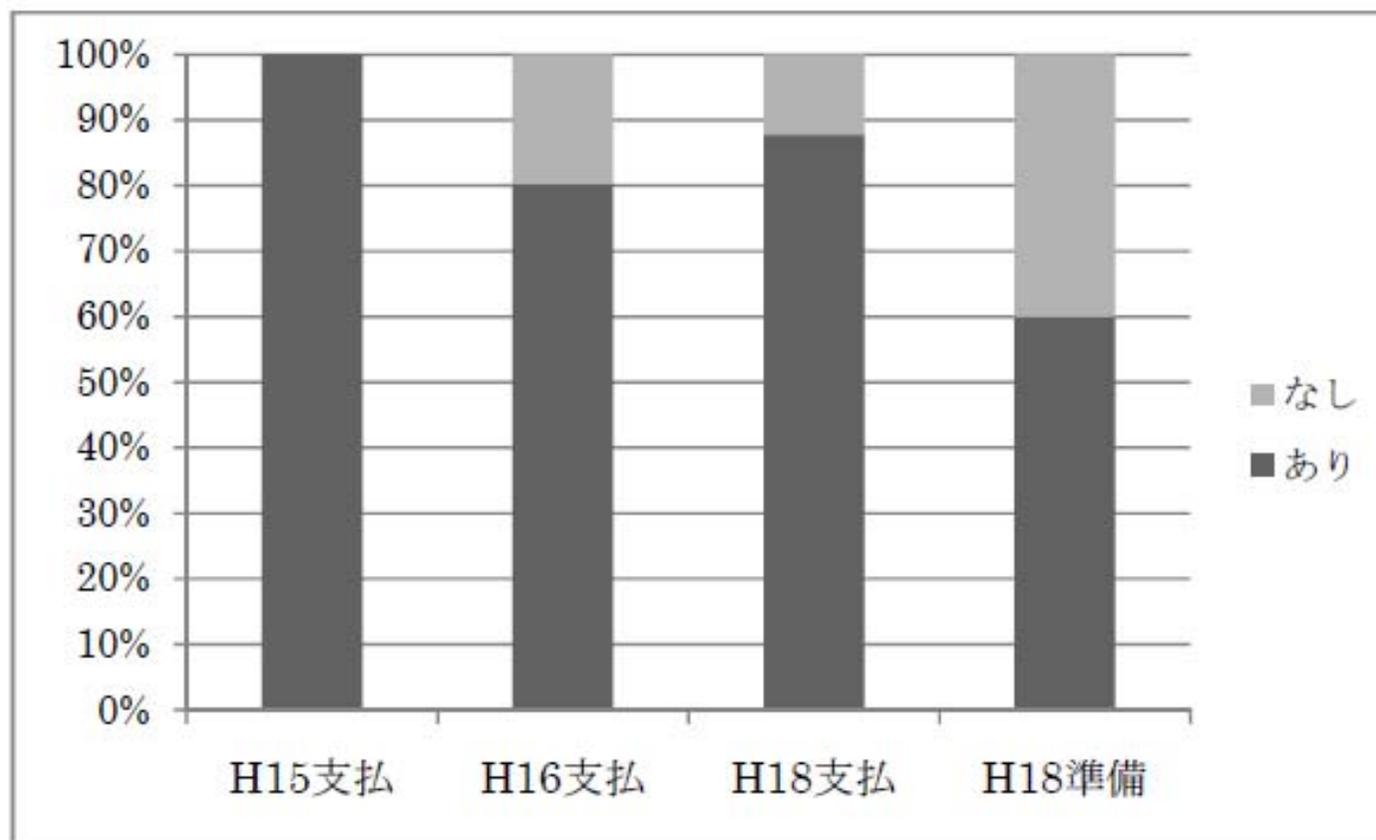
全患者数に対する全麻の割合



010060x099x3xx (脳梗塞)



病理専門医の存在割合



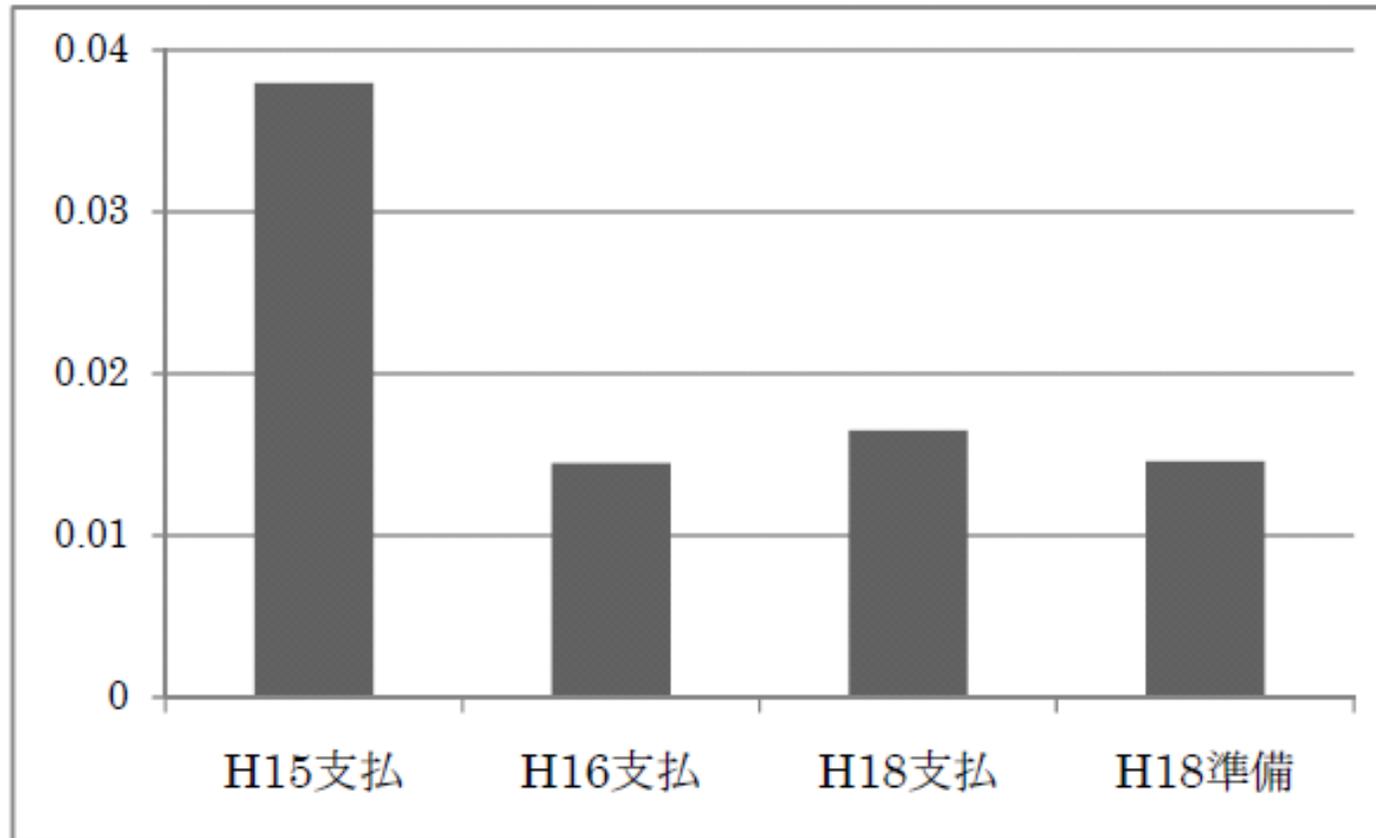
病理専門医の有無によるパフォーマンスの違い

専門医	変数	N	平均値	標準偏差	p value*
なし	全患者数	100	1421.9	903.6	0.000
あり		369	4199.8	2123.9	
なし	組織診数	100	281.7	264.2	0.000
あり		369	1202.3	793.8	
なし	組織診検査率(対全患者)	100	0.18	0.10	0.000
あり		369	0.27	0.09	
なし	迅速病理検査率(対全患者)	100	0.02	0.05	0.000
あり		369	0.06	0.05	
なし	迅速病理検査率(対組織診検査)	100	0.00	0.01	0.000
あり		369	0.02	0.02	
なし	免疫染色計(対全患者)	100	0.01	0.01	0.000
あり		369	0.02	0.02	
なし	免疫染色計(対組織診検査)	100	0.03	0.05	0.000
あり		369	0.06	0.05	

p value: t検定による有意確率

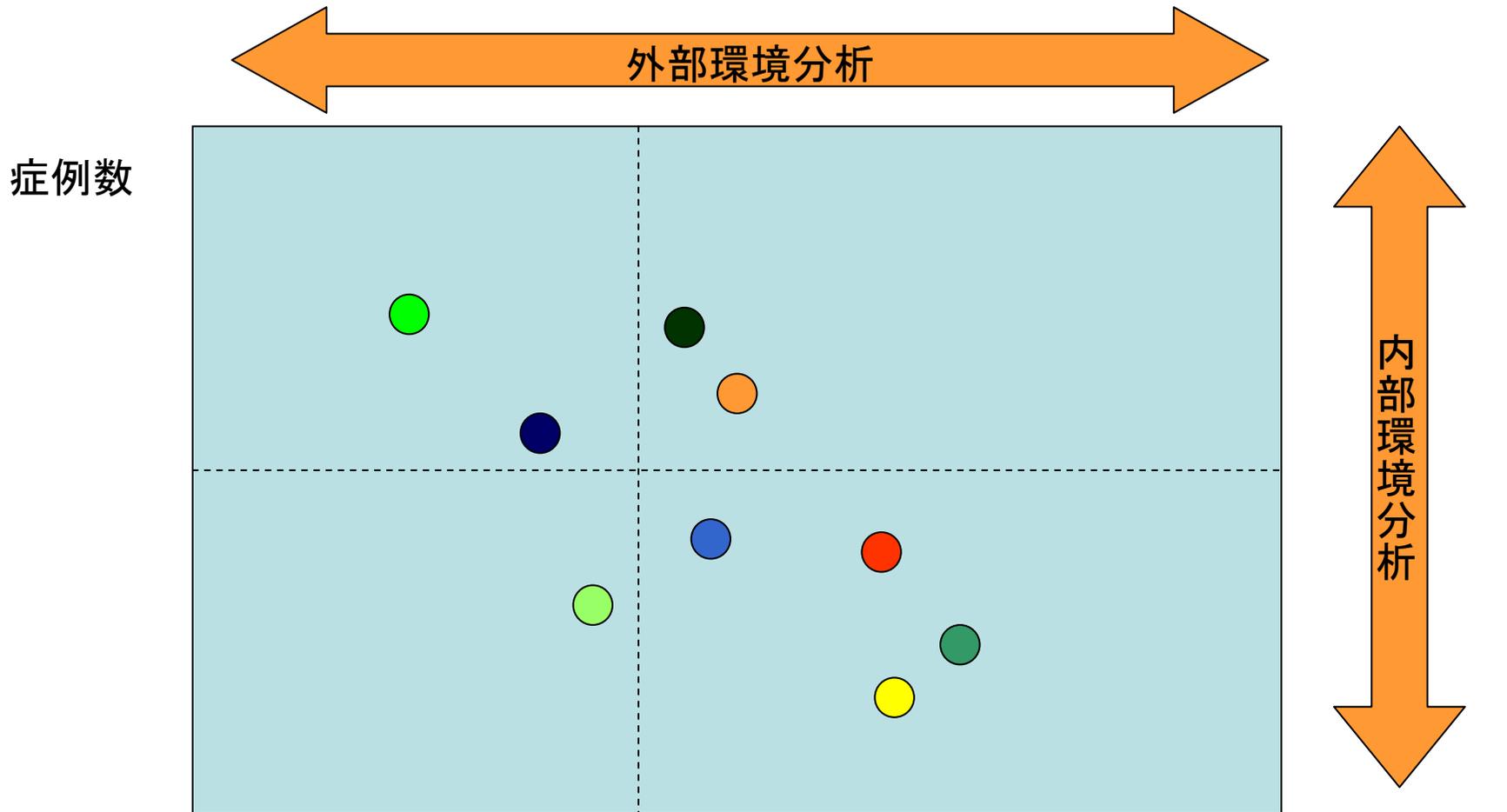
全項目で病理専門医がいる方がパフォーマンスが高い 33

全患者に対する迅速検査の割合



地域での役割の評価方法の検討

4疾病5事業の評価



- がん手術
- がん化療
- がん放治
- 脳血管障害

- 心筋梗塞
- 救急患者
- 分娩数
- 新生児患者

・対応する加算・係数の算定を実際の業務量を勘案して評価する必要はないか？
・災害拠点病院及びへき地医療に関して評価する必要はないか？

諸外国の例

オーストリアにおける1病床あたり看護師数及び TISS 28スコアを基準としたICU区分と加算方式

分類基準	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
パフォーマンス基準 I						
1日あたり平均TISS28スコア	≥18	≥22	≥27	≥32	≥37	≥40
パフォーマンス基準 II						
最低TISS28スコア	20	24	29	34	39	42
最低TISS28スコアの割合	30%	30%	30%	30%	30%	30%
パフォーマンス基準 III						
最低TISS28スコア					45	50
最低TISS28スコアの割合					5%	2%
評価基準						
1床あたり看護師数	≥1.5	≥2.0	≥2.5	≥3.0	≥3.5	≥4.0
1日あたり加算点数	365	477	663	940	1145	1412

Victoria州における病院の規模別・機能別標準支払額
 (1 WIESあたりの支払額)

	標準レート	地方加算	調整後レート
大病院	\$2,515	\$0	\$2,515
地方病院・Bグループ・>13,000WIES	\$2,515	\$114	\$2,629
地方病院・Bグループ・7,500 - 13,000WIES	\$2,515	\$192	\$2,707
地方病院・Bグループ・5,000 - 7,500WIES	\$2,515	\$258	\$2,773
地方病院・Bグループ・<5,000WIES	\$2,515	\$273	\$2,788
地方病院・Cグループ	\$2,515	\$110	\$2,625
地方病院・D及びEグループ	\$2,515	\$144	\$2,659

(単位は豪州ドル: 1\$ = 73円, 平成15年4月10日現在)

出典: Victorian Government Department of Human Services (2002)

Victoria州における病院の教育・研修費用

職種	フルタイム換算レート
Medical Postgraduate Years 1, 2 and 3	\$34,500
Accrediated Registrars	\$34,500
Clinical Academic Staffs	\$40,200
Grade 1 Registered Nurses	\$12,600
Postgraduate Certificated Nurses	\$7,600
Postgraduate Diploma Nurses	\$15,300
Postgraduate Midwifery Nurses	\$15,300
Midwifery Nurses	\$3,000
Pharmacy Trainees	\$24,700
Medical Radiation Interns	\$24,400
Medical Biophysics Trainees	\$13,800
Physiotherapists Grade 1, Year 2	\$14,400
Occupational Therapists Grade 1, Year 2	\$14,400
Speech Pathologists Grade 1, Year 2	\$14,400
OT, ST & PT Grade 1, Year 3 (entry level, rural)	\$14,700
Medical Laboratory Scientists	\$11,900

(単位は豪州ドル: 1 \$ =73円, 平成15年4月10日現在)

出典:Victorian Government Department of Human Services (2002)